

世田谷村日記

石山修武

一月十九日

早朝批評と理論シンポジウム七回分の最終稿チェック。九時終了。一息つく。十一時過研究室〇五〇一CEMA作業。雑打合わせ。李祖原事務所とCEMA計画の連絡。他二十二時迄食事もとらずに打合わせの連続。二十三時過世田谷村に戻る。遅い食事をとる。

一月二〇日

〇時半就寝。七時半起床。朝陽がほとんど水平に二階三階に差し込んでいる。こういう事に家族は誰も価値を認めない。寒い寒いと文句を言う。マ、それも仕方ないのだ。体調、気力、共に回復しつつあるので少しづつ世田谷村の事もしなくては。

九時過ぎT邸現場左官仕上げ色出しチェック。よい色合いが出ていたが心配なところもあり今夕再打合わせとなる。発華現象は科学では呑み込めぬ。経験で呑み込むしかない。十二時二〇分研究室。北京の李祖原と連絡。十三時教室会議。十五時教授会。

一月二十一日

昨日は夕方再びT邸現場。内外の仕上げ確認。ほぼ思い通りの感じに仕上がった。左官、塗装職人達とおしゃべり。こういう時間は楽しい。今日は十一時研究室。INAX出版来室。十二時〇五二二フィナンランドP打合わせ。

朝、東北の結城登英雄氏と連絡。自給自足農村計画の第一段階

を一ヶ月以内にまとめる方針を決断した。
午後東北農村計画。打合わせ。十五時設計製図採点。十七時終了。何件かの打合わせ。十九時過おわる。新大久保駅前近江屋でビール飲んで二十一時半世田谷村に戻る。銅版画の下図をスケッチ。